

あうちのひとのための

交通安全新聞

6月号



雨の日の約束は「焦らない・急がない」

雨の日は道路が濡れて滑りやすかったり、視界が悪かったりと普段より危険度が増します。そして、焦った気持ちで出かけると冷静さに欠け判断力が落ち、周囲の危険に対して鈍感になります。梅雨の時期は交通事故が多く発生する時期なので落ち着いて運転しましょう。

○焦ったりイライラした時は6秒やり過ごして心を静めよう



発進前に全席シートベルト着用を！
乗る人にベルトをすすめる思いやり

駐車場での幼児の死亡事故多発！

今年1月には大分県の保育園の敷地内で2歳の女の子が、別の園児の保護者の車と接触し死亡するという大変痛ましい事故が発生しています。

手をつないでお子さんを交通事故から守りましょう！



道路交通法には「幼児を保護する責任がある者は自分または自分に代わる監護者が付き添わないで幼児を1人歩きさせてはならない」とあり、幼児は「6歳未満の者」と規定しています。保護者は小さい子どもと歩く時は必ず手をつなぎ、車道側を保護者が歩くようにして下さい。

6月から交通安全教室が始まります
教室があった日にはどんな話を聞いたか
お子さんと話してみてください



私たちが交通安全教育指導員です
鯖江市内で交通安全教室を行ったり、安全を守る為に日々活動しています。よろしくお願ひします。



黒川



山口

さばえの交通安全は「ここをクリック！」

<http://www.city.sabae.fukui.jp/>



令和元年度



毎日家族と交通安全を守りましょう

